

参考資料-4

R6 年秋季例大祭奉納行事に関する本当屋寄り（第4回）の結果

日時： R6 年 6 月 9 日（日）8 時半～

場所： 大坪常会集会所

出席： 上里（健）、木本、末國（栄）、末國（富）、竹本、中田（真）、中田（猛）、成清、
坊田、松本、吉崎

進行は中田常会長

検討事項

1. 前回会合の結果

資料あり 以下の補足説明あり

- ・「神前料理について駅組常会の資料があり明確になった」末國（栄）、中田（真）
- ・神輿倉の収容物を見た。狛犬のための菰（こも）が計 4 枚必要（成清）
- ・紙垂（しで）は必要枚数を宮司が作ることになっている（成清）

2. 各担当の経過報告

当屋総代（成清）：巫女の舞の世話も本当屋の役務

当屋会計（坊田）： 行事頭領（末國）：

当屋書記（木本）：名簿の名前にはフリガナが要る。

胴卸し・練習担当（坊田）：一場木工所の練習場所使用は OK。楽打ちの参加者を把握中

神前供え物担当（中田（真））：

注連縄ワラほぐし・縄い担当（末國（栄））：ワラをそぐう必要がある。新丸氏から足踏み式の
千波を借りる。他はリースを含めて検討する。

賄い担当（成清）：子供にどんなものが良いか検討中

幟立て・注連縄張り・控室等の設置担当（坊田）：ワイヤレスマイクなど一式を川立神楽団
が持っており、河野氏のルートで借用できる。幟の竹竿は準備済みだが種類と立てる位
置を考える必要がある。

3. 予算案作成について各担当への協力依頼

裏付けある予算作成のため以下の担当および役員は、必要経費の見積表（支出名目、単価、
金額）を 6 月末までに提出することにしたいがどうか。 このとおり了解された。

成清総代：太鼓借用、当屋寄り、ワラ保管庫使用の謝礼

末國行事頭領：傷害保険料、衣装のクリーニング代、舞殿・本殿の音響リースほか

当屋書記：配布物の印刷費など

注連縄ワラほぐし・縄い担当：

胴卸し・練習担当：

幟立て・注連縄張り・控室等の設置担当：

神前供え物担当（金の御幣宅（集会所）での御供えと直会、大祭朝の神前料理を含む）：

賄い担当（胴打ち練習）：

4. 役割表（案）について

別紙に素案を作った。本当屋を決めてから不足分について他常会へ依頼することにしたい。
別紙案を持ち帰り、6月末までに本当屋分を固め、次回本当屋寄りで決めたい。

6月16日の常会の後で検討する。

5. 文書の作成（確認）

本当屋が作る対外向け文書は以下のとおり。他にもあるか？

文書名や内容	配布時期	配布先、内容、様式
当屋寄り開催案内	7月下旬	宮司、総代会、常会長、神社委員、保存会あて 普通の開催案内、会場は川地コミュニティ A4、横書き 成清総代から案が示された。
役割申込書	当屋寄り (8月25日)	常会長あて、各3部 募集する役割、依頼文と申込書 A4、横書き
注連縄綱い	9月上旬	参加要請する常会長あて、神社委員、総代会？ 開催の案内、作業内容、所要労力、協力の依頼 A4、横書き 当屋寄りで説明するので不要
楽打ち・巫女の舞練習日程表	9月中旬	関係者あて 練習場所と日程、A4 横書き
注連縄張り、幟立て、 楽屋作り	9月下旬	参加要請する常会長あて、神社委員、総代会？ 開催の案内、作業内容、所要労力、協力の依頼 A4、横書き 当屋寄りで説明するので不要
秋季例大祭開催案内 当屋請儀式役割表	10月上旬 役割表完成後	関係者および全戸 内容は注1のとおり。 A3、縦書き 両面印刷にはせず別々に印刷する。
秋季例大祭催行表	10月上旬	関係者 神事と奉納行事を網羅して時間列に並べたもの 前夜祭と大祭の行事一覧、A4、横書き
礼状	10月下旬	各常会長あて 例大祭終了の挨拶と協力への謝意 A4、縦書き 花を出した個人に対する礼状が必要
小祭り開催案内	11月上旬	各常会長あて 開催の通知と参加要請 A4、縦書き
とんど催行案内	1月上旬	各常会長（中の村と瀬谷）あて 開催の通知と参加要請 A4、縦書き

注1：秋季例大祭開催案内文には以下の主旨を盛り込む。

- ・コロナ禍で奉納行事を4年休止したので5年ぶりの奉納行事
- ・従来どおりの奉納行事を心掛けた。ただ、高齢化と人数減のため祭礼時の集中する役務への対応が難しく神楽招聘は断念した。
- ・芸能伝統保存会の発足（六神儀、獅子舞、神輿）は本当屋にとってありがたく、奉納行事催行の新しい姿

・この度の大祭を最大限の努力で催行するので協力と参加をお願いする。

注2：外部との打合せ場所は、川地コミュニティも使用する。本当屋が行うのは神事ではなく奉納行事、つまり住民の総意に基づく自治活動と考える。

注3：開始時刻の影響は大きいので諸準備と内容を含めて検討して決定し記載すること。

6. 次回の本当屋寄りについて

当屋寄り（8月25日）までに予算（各戸負担金額）を固める必要がある。各担当の見積りを積算した予算案を検討し決定したい。また、当屋寄りの内容も準備作業の通知だけでなく他常会に依頼する役務を明示するなど実効性を保つ必要あり。

この検討のため、次回本当屋寄りを8月18日（日）に開催したいがどうか。

観音さん祭りと常会の後で開催する。

7. 悪魔祓い団扇飾りの貼り換え作業

現物が集会所にある。練習に使うと傷むので直前が良いが（結論出ず）。

（以上）

役割表（第1次案）

区分	担当期間	No.	奉仕役割	奉仕人員	本当屋	他当屋	備考	既定氏名／候補者名
奉納	全期間	1	金の御幣	1	1			松本高士
奉納	全期間	2	本当屋氏子総代	1	1			成清耕三
奉納	全期間	3	行事総頭領（正）	1	1			末國富雄
奉納	全期間	4	行事総頭領（副）	1	○	○		末國栄之助、坊田浩之
奉納	全期間	5	本当屋会計（正・副）	2	2			坊田浩之、中田真砂子
奉納	全期間	6	本当屋書記（正・副）	2	2			木本常爾、竹本敏江
奉納	全期間	7	行事相談役	6～8	3～5	3	当屋各常会長、全当屋地区代表	中田 猛
奉納		8	本当屋奉仕者		○		当屋全員	
奉納	前夜・大祭	9	神前書記	3	2	1	計2名ではどうか	末國栄之助、吉崎
神事	前夜・大祭	10	巫女の舞	4	0	-	総代会が担当	
奉納	前夜・大祭	11	神前奉仕者	2	2	○		竹本敏江、末國恵子
奉納	大祭	12	幣帛櫃担ぎ	2	2	○		
奉納	前夜・大祭	13	神前御供え物奉仕者	2	2	○		中田真砂子、松本ひろえ
奉納		14	呼び出し進行係	2	2	○	置かない。	行事総頭領（正副）が兼務する。
奉納	前夜・大祭	15	神前御料具運搬奉仕者	2	○	○		他常会より
奉納	前夜	16	宮司送迎係（運転）	1	1	○		末國富雄
奉納	大祭	17	神前湯沸かし奉仕者	2	2	○		末國征男
奉納	行列	18	悪魔祓い	1	1			坊田浩之
奉納	準備日	19	御旅道路しめ縄張奉仕者	2	2	○		
奉納	行列	20	道中花受け	3	3			木本常爾、吉崎、上里克己
奉納	祭礼原	21	赤飯配り奉仕者	3	3	○		上里八千代、松本ひろえ
奉納	祭礼原	22	白酒配り奉仕者	3	3	○		末國孝子、末國智麻子
奉納	練習・当日	23	楽打頭領	2	2	○		
奉納		24	神輿監督				芸能伝統保存会	品川公治
奉納		25	神輿担ぎ奉仕者				芸能伝統保存会	
奉納		26	獅子舞師匠				芸能伝統保存会	河野直樹
奉納		27	獅子舞奉仕者				芸能伝統保存会	
奉納	前夜・大祭	28	獅子太夫	1	1	○		杉本
奉納		29	六神儀師匠				芸能伝統保存会	大倉弘成
奉納		30	六神儀舞子奉仕者				芸能伝統保存会	
奉納		31	六神儀世話係				芸能伝統保存会	
奉納	前夜	33	前夜祭帳場	3	3			末國栄之助、坊田浩之
奉納	行列	34	御座（コモ）持ち奉仕者	2	2	○		
奉納	行列	35	ㄦ胴担ぎ奉仕者	2	2	○		
奉納	行列	36	ㄦ胴打ち奉仕者	2	2	○		
奉納	行列	37	楽打奉仕者	20	○	○	最低10組（希望）	別途選定
奉納	前夜・大祭	38	笛吹き奉仕者（お囃子）	4	○	○	最低2名	別途選定
奉納	前夜・大祭	39	鐘打ち奉仕者（お囃子）	4	○	○	最低2名	別途選定
奉納	前夜・大祭	40	扇輪切り奉仕者	4	○	○	最低2名	
奉納	行列	41	小太鼓奉仕者	若干名	○	○		
奉納	行列	42	手拍子奉仕者	若干名	○	○		
奉納	行列	43	旗・槍・長刀持ち奉仕者	若干名	○	○		
奉納	行列	44	交通整理員奉仕者	5	○	○	地区交通安全協会に要請	

注：表の「奉仕人員」数は、実情を考えて人数を設定する。

奥さん（吉崎、成清、坊田、末國(征)）、上里百合子、杉本幸子、竹本氏、中田陽子